



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 大

上場会社名 サノヤスホールディングス株式会社

コード番号 7022 URL <http://www.sanoyas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上田 孝

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員

(氏名) 森本 武彦

TEL 06-4803-6171

四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 35,878 | 0.7 | 2,229 | 3.2 | 2,166 | 3.9 | 1,117 | 47.2 |
| 23年3月期第2四半期 | 35,618 | 3.8 | 2,160 | — | 2,085 | — | 759 | — |

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 753百万円 (114.4%) 23年3月期第2四半期 351百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 34.31 | — |
| 23年3月期第2四半期 | 23.31 | — |

当社は平成23年10月3日付で子会社の株式会社サノヤス・ヒシノ明昌の株式移転により持株会社として設立されました。当第2四半期決算短信は、子会社である株式会社サノヤス・ヒシノ明昌の業績を報告するものです。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 |
|-------------|--------|---|--------|---|--------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % |
| 24年3月期第2四半期 | 74,407 | — | 15,072 | — | 19.1 |
| 23年3月期 | 77,124 | — | 14,518 | — | 17.7 |

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 14,209百万円 23年3月期 13,662百万円

当社は平成23年10月3日付で子会社の株式会社サノヤス・ヒシノ明昌の株式移転により持株会社として設立されました。当第2四半期決算短信は、子会社である株式会社サノヤス・ヒシノ明昌の業績を報告するものです。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 合計 |
|------------|--------|--------|--------|------|-----|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 円 銭 | |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | 6.00 | 円 銭 | 6.00 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | — | 円 銭 | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 円 銭 | 5.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成23年10月3日付で子会社の株式会社サノヤス・ヒシノ明昌の株式移転により持株会社として設立されました。当第2四半期決算短信は、子会社である株式会社サノヤス・ヒシノ明昌の業績を報告するものです。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 74,000 | 5.9 | 5,500 | 42.0 | 5,300 | 41.3 | 2,450 | 64.2 | 75.20 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 24年3月期2Q | 32,600,000 株 | 23年3月期 | 32,600,000 株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|----------|--------|----------|
| 24年3月期2Q | 22,265 株 | 23年3月期 | 22,265 株 |
|----------|----------|--------|----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 24年3月期2Q | 32,577,735 株 | 23年3月期2Q | 32,577,818 株 |
|----------|--------------|----------|--------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報..... | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報..... | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報..... | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報..... | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項..... | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動..... | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用..... | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示..... | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表..... | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表..... | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び包括利益計算書..... | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書..... | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記..... | 11 |
| (5) セグメント情報..... | 11 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記..... | 12 |
| 4. 補足情報..... | 13 |
| 販売及び受注の状況..... | 13 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により大きな打撃を受けましたが、その後の被災企業の復旧やサプライチェーン回復が比較的早期になされたことから、持ち直しの動きが見られました。一方、米国経済の減速懸念、欧州諸国の債務問題に絡む金融不安等に加え歴史的水準での円高が定着し、景気の先行きは不透明感が増す状況となりました。

当社グループを取り巻く環境においても、船舶部門では中国の造船能力の大幅な拡大から新造船の船価が低迷する一方、円高と鋼材価格の値上げに見舞われました。

陸機部門及びその他の部門からなる陸上事業では、震災影響により国内設備投資や個人消費が低迷し、引続き厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社グループでは新造船については、差別化による競争力確保を図るため、世界最高水準の環境及び省エネに対応した82千重量トン型のパナマックス・バルクキャリアを開発するとともに、既存船型についても更なる省エネ型へのデザイン改良に努めました。陸上事業においても、顧客ニーズに即した新商品の開発と営業に努めました。

また、今後当社グループの持続的発展、企業価値向上のためには、現在の組織体制を一新して連結経営のレベルアップを図ることが必要と判断し、単独株式移転により持株会社を設立し、その傘下に4つの事業グループを設定、個別事業ごとに分社した各事業会社と既存の子会社等を同列に配置した組織に再編することとしました。

なお、立体駐車装置事業については、先行して7月に分社を完了しました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、震災影響による遊園地運営収入の減少がありましたが、船舶及びその他部門の増加により前年同四半期比260百万円(0.7%)増加の35,878百万円となりました。営業利益は、円高により船舶部門において受注工事損失引当金の増加があったものの、陸機部門での保証工事引当金が減少したこと等から前年同四半期比68百万円(3.2%)増加の2,229百万円となり、経常利益は80百万円(3.9%)増加の2,166百万円となりました。四半期純利益は、前年に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額等の特別損失が減少したことから、前年同四半期比358百万円(47.2%)増加の1,117百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①船舶部門

当第2四半期連結累計期間における厳しい受注環境の中、新造船については為替及び資機材価格動向を見極めつつ受注活動を行い、新83千重量トン型のパナマックス・バルクキャリア等3隻を受注しました。その結果、当第2四半期末の受注残高は109,844百万円となりました。新造船の引渡しは、83千重量トン型パナマックス・バルクキャリア4隻と120千重量トン型ハンディーケープ・バルクキャリア1隻であり、修繕船等を加えた当該部門の売上高は、前年同四半期比246百万円(0.9%)増加の28,242百万円となりました。営業利益は、生産性向上に努めましたが、歴史的な円高の昂進に伴い次年度以降に引渡す船舶の一部において受注工事損失引当金を2,107百万円計上したことから、前年同四半期比1,340百万円(28.7%)減少の3,334百万円となりました。

②陸機部門

立体駐車装置、建設機械、遊園機械の製造及び遊園地運営等を行う陸機部門においては、厳しい国内設備投資環境において顧客ニーズに即した受注活動を行い、立体駐車装置ではリニューアル案件を、遊園機械では集客力向上となる観覧車案件などを受注したことにより、当第2四半期末の受注残高は1,976百万円となりました。売上高は、震災影響により遊園地運営収入が減少したこと等から前年同四半期比128百万円(3.5%)減少の3,596百万円となりました。損益面はコストダウンに努めましたが、豪州観覧車の保証工事引当金522百万円を追加計上したこと等から226百万円の営業損失(前年同四半期は1,865百万円の営業損失)となりました。

③その他の部門

主として連結子会社の事業である空調・給排水・環境工事、機械部品製造、化粧品製造用機械等

のその他の部門においても、顧客ニーズに即した受注活動を行い、化粧品製造用機械、機械部品製造等の受注が増加しましたが、大型の環境工事が竣工したことから当第2四半期末の受注残高は1,642百万円となりました。売上高は、化粧品製造用機械等の増加により前年同四半期比142百万円(3.7%)増加の4,040百万円となりました。営業利益は、環境工事の採算が低下したこと等から前年同四半期比65百万円(28.6%)減少の163百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,566百万円減少し、49,197百万円となりました。これは、現金及び預金が4,888百万円減少し、受取手形及び売掛金が2,646百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて149百万円減少し、25,210百万円となりました。これは有形固定資産が202百万円増加し、投資有価証券が526百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,353百万円減少し、42,232百万円となりました。これは未払法人税等が1,343百万円、受注工事損失引当金が2,109百万円それぞれ増加し、前受金が4,453百万円、保証工事引当金が1,150百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて916百万円減少し、17,102百万円となりました。これは長期借入金が872百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて553百万円増加し、15,072百万円となりました。これは、利益剰余金が918百万円増加したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ4,888百万円減少し、23,188百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、2,366百万円の支出となりました。主な増加は、税金等調整前四半期純利益2,140百万円、受注工事損失引当金の増加2,109百万円、未収消費税等の減少651百万円であり、一方主な減少は、売上債権の増加2,639百万円、前受金の減少4,453百万円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,086百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出848百万円であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、1,405百万円の支出となりました。これは主に、長期借入金返済による支出1,139百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績見込みにつきましては、当第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、前回予想を修正しております。

詳細は平成23年10月28日付にて別途開示しました「平成24年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結累計期間より、特定子会社に該当しないサノヤス・エンジニアリング(株)について、重要性が増したため新たに連結範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 28,902 | 24,014 |
| 受取手形及び売掛金 | 16,439 | 19,086 |
| 有価証券 | 50 | — |
| 商品及び製品 | 154 | 180 |
| 仕掛品 | 1,312 | 1,569 |
| 原材料及び貯蔵品 | 512 | 528 |
| その他 | 4,545 | 3,853 |
| 貸倒引当金 | △153 | △34 |
| 流動資産合計 | 51,764 | 49,197 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 機械及び装置(純額) | 4,719 | 4,745 |
| 土地 | 5,197 | 5,195 |
| その他(純額) | 7,507 | 7,686 |
| 有形固定資産合計 | 17,424 | 17,627 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 620 | 673 |
| 無形固定資産合計 | 620 | 673 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,485 | 3,958 |
| その他 | 3,056 | 3,173 |
| 貸倒引当金 | △227 | △222 |
| 投資その他の資産合計 | 7,315 | 6,909 |
| 固定資産合計 | 25,360 | 25,210 |
| 資産合計 | 77,124 | 74,407 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 14,317 | 14,021 |
| 短期借入金 | 4,356 | 4,035 |
| 未払法人税等 | 42 | 1,386 |
| 前受金 | 20,594 | 16,140 |
| 賞与引当金 | 428 | 461 |
| 保証工事引当金 | 3,224 | 2,074 |
| 受注工事損失引当金 | 551 | 2,660 |
| 固定資産撤去費用引当金 | 47 | — |
| 訴訟損失引当金 | — | 35 |
| その他 | 1,023 | 1,417 |
| 流動負債合計 | 44,586 | 42,232 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 固定負債 | | |
| 社債 | 90 | 75 |
| 長期借入金 | 12,393 | 11,521 |
| 退職給付引当金 | 4,499 | 4,423 |
| 役員退職慰労引当金 | 224 | 74 |
| 資産除去債務 | 537 | 532 |
| 負ののれん | 99 | 89 |
| その他 | 174 | 385 |
| 固定負債合計 | 18,019 | 17,102 |
| 負債合計 | 62,605 | 59,335 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,538 | 2,538 |
| 資本剰余金 | 1,110 | 1,110 |
| 利益剰余金 | 9,272 | 10,190 |
| 自己株式 | △9 | △9 |
| 株主資本合計 | 12,910 | 13,829 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 751 | 390 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △10 |
| その他の包括利益累計額合計 | 751 | 380 |
| 少数株主持分 | 855 | 863 |
| 純資産合計 | 14,518 | 15,072 |
| 負債純資産合計 | 77,124 | 74,407 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 35,618 | 35,878 |
| 売上原価 | 31,300 | 31,273 |
| 売上総利益 | 4,317 | 4,605 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,156 | 2,375 |
| 営業利益 | 2,160 | 2,229 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 11 | 7 |
| 受取配当金 | 41 | 40 |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 126 |
| その他 | 80 | 72 |
| 営業外収益合計 | 133 | 247 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 199 | 173 |
| その他 | 9 | 136 |
| 営業外費用合計 | 208 | 310 |
| 経常利益 | 2,085 | 2,166 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 7 | 3 |
| 投資有価証券売却益 | 0 | — |
| 特別利益合計 | 7 | 3 |
| 特別損失 | | |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 530 | — |
| 減損損失 | 23 | 1 |
| 投資有価証券評価損 | — | 13 |
| 固定資産除却損 | 2 | 13 |
| 投資有価証券売却損 | 0 | — |
| その他 | 18 | 1 |
| 特別損失合計 | 575 | 29 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,517 | 2,140 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 868 | 1,351 |
| 法人税等調整額 | △133 | △340 |
| 法人税等合計 | 734 | 1,011 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 782 | 1,129 |
| 少数株主利益 | 23 | 11 |
| 四半期純利益 | 759 | 1,117 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 782 | 1,129 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △396 | △365 |
| 繰延ヘッジ損益 | △34 | △10 |
| その他の包括利益合計 | △431 | △375 |
| 四半期包括利益 | 351 | 753 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 333 | 746 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 18 | 7 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,517 | 2,140 |
| 減価償却費 | 1,374 | 1,213 |
| 減損損失 | 23 | 1 |
| 負ののれん償却額 | △10 | △10 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | △67 | △89 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | △9 | △150 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 3 | △123 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 35 | 30 |
| 保証工事引当金の増減額 (△は減少) | 607 | △1,150 |
| 受注工事損失引当金の増減額 (△は減少) | △5 | 2,109 |
| 固定資産撤去費用引当金の増減額 (△は減少) | — | △47 |
| 訴訟損失引当金の増減額 (△は減少) | — | 35 |
| 受取利息及び受取配当金 | △52 | △48 |
| 支払利息 | 199 | 173 |
| 為替差損益 (△は益) | 8 | 87 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | △7 | △2 |
| 有形固定資産除却損 | 2 | 13 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | 0 | △14 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 6 | 13 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 530 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 2,488 | △2,639 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 542 | △276 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 9 | △461 |
| 前受金の増減額 (△は減少) | △1,755 | △4,453 |
| 未収消費税等の増減額 (△は増加) | 871 | 651 |
| 長期未払金の増減額 (△は減少) | 3 | 200 |
| その他 | △64 | 435 |
| 小計 | 6,252 | △2,361 |
| 利息及び配当金の受取額 | 48 | 47 |
| 利息の支払額 | △204 | △174 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △1,928 | 121 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,167 | △2,366 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △228 | △428 |
| 定期預金の払戻による収入 | 128 | 428 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △816 | △848 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 27 | 46 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △79 | △189 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 215 | 87 |
| 貸付けによる支出 | △4 | △18 |
| 貸付金の回収による収入 | 35 | 3 |
| その他 | △10 | △167 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △731 | △1,086 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △29 | △105 |
| 長期借入れによる収入 | 50 | 50 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,209 | △1,139 |
| 社債の償還による支出 | △15 | △15 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | — |
| 配当金の支払額 | △162 | △195 |
| その他 | — | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,366 | △1,405 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △8 | △87 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 2,060 | △4,946 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 32,278 | 28,076 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | — | 58 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 34,338 | 23,188 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他の部門 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|---------|--------|--------|----------------|--------|-------------|-----------------------------------|
| | 船舶部門 | 陸機部門 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 27,995 | 3,725 | 31,721 | 3,897 | 35,618 | — | 35,618 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 2 | 0 | 2 | 94 | 96 | △96 | — |
| 計 | 27,997 | 3,725 | 31,723 | 3,991 | 35,715 | △96 | 35,618 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 4,675 | △1,865 | 2,809 | 229 | 3,038 | △877 | 2,160 |

- (注) 1 「その他の部門」の区分は報告セグメントには含まれていない事業セグメントであり、空調・給排水・環境工事、機械部品製造、化粧品製造用機械製造、自動車部品製造、ソフトウェア開発等を含んでおります。
- 2 調整額は、以下のとおりであります。
セグメント利益又は損失の調整額877百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用878百万円及びセグメント間取引消去△0百万円であります。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他の部門 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|---------|-------|--------|----------------|--------|-------------|-----------------------------------|
| | 船舶部門 | 陸機部門 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 28,242 | 3,596 | 31,838 | 4,040 | 35,878 | — | 35,878 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 2 | 25 | 27 | 151 | 179 | △179 | — |
| 計 | 28,244 | 3,621 | 31,866 | 4,192 | 36,058 | △179 | 35,878 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 3,334 | △226 | 3,108 | 163 | 3,271 | △1,042 | 2,229 |

- (注) 1 「その他の部門」の区分は報告セグメントには含まれていない事業セグメントであり、空調・給排水・環境工事、機械部品製造、化粧品製造用機械製造、自動車部品製造、ソフトウェア開発等を含んでおります。
- 2 調整額は、以下のとおりであります。
セグメント利益又は損失の調整額1,042百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用1,043百万円及びセグメント間取引消去△0百万円であります。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

【販売及び受注の状況】

部門別売上高

| セグメント | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) | |
|--------|---|--------|---|--------|
| | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) | 構成比(%) |
| 船舶部門 | 27,995 | 78.6 | 28,242 | 78.7 |
| 陸機部門 | 3,725 | 10.5 | 3,596 | 10.0 |
| その他の部門 | 3,897 | 10.9 | 4,040 | 11.3 |
| 合計 | 35,618 | 100.0 | 35,878 | 100.0 |

受注状況ならびに受注残高

| セグメント | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) | |
|--------|---|---------------|---|---------------|
| | 受注高 (百万円) | 受注残高 (百万円) | 受注高 (百万円) | 受注残高 (百万円) |
| 船舶部門 | 16,921 | 147,285 | 10,784 | 109,844 |
| 陸機部門 | 1,266 | 916 | 2,277 | 1,976 |
| その他の部門 | 2,291 | 2,126 | 2,916 | 1,642 |
| 合計 | 20,480 | 150,328 | 15,978 | 113,463 |

(注) 当第2四半期連結会計期間末の船舶部門における新造船の受注残高隻数は、工事完成基準で29隻であります。